

グラード教授特別講演会

主催:新潟大学災害・復興科学研究所
共催:(公社)日本地すべり学会新潟支部

ヨーロッパアルプス周辺地域をはじめとする各地の各種斜面変動現象、およびそれらのリスク評価等に詳しいウィーン大学のThomas Glade先生が来日される機会に、下記のとおり第29回災害環境科学セミナー（特別講演会）を開催いたします。

欧州地域の最近の自然災害研究・技術動向などを含めた興味深いお話を聴くことができる貴重な機会ですので、ふるってご参加ください。

●日時: 令和元年9月15日(日)10時30分～12時00分 (受付:10時00分～)

●場所: 新潟大学 [駅南キャンパス](#) [ときめいと](#) 講義室A

●題目: Landslide hazard and risks
-some experiences and future challenges-
地すべりのハザードとリスク～これまでの経験とこれからの挑戦～

講師: Thomas Glade教授(ウィーン大学地理・地域研究学部)



●参加費: 無料

●定員: 50名(どなたでも参加できます)

●参加申込: 参加を希望される方は、氏名・所属をメールでお知らせください。
送信先: nhdr_office@gs.niigata-u.ac.jp (件名:講演会), 9月13日(金)まで。

問い合わせ先: 新潟大学災害・復興科学研究所事務室(電話:025-262-7051)



講師略歴:

- 1994年 ルプレヒト・カール大学ハイデルベルク(ハイデルベルク大学, ドイツ)地理学部 修了
地理学のDiplomaを取得
- 1994年 ヴィクトリア大学ウェリントン(ニュージーランド)地理・環境・地球科学大学院 修了
物理地理学の博士号(PhD)を取得
- 2004年 ライン・フリードリヒ・ヴィルヘルム大学ボン(ボン大学, ドイツ)地理学部
地理学の教授資格(Habilitation)を取得
- 2006年 ウィーン大学地理・地域研究学部 地形システム・リスク研究グループ 教授
これまでヨーロッパの数々の学会要職を歴任。地形学・物理地理学を基礎として、以下の研究に取り組んでいます。

地形学的研究として、①斜面災害発生空間的・時間的分布のモデリング、② 斜面災害を引き起こす閾値、③ 斜面災害のトリガー(降雨、地震)の調査とシミュレーションなど。

防減災に関する研究として、① 斜面災害への政策対応、② 斜面災害による経済的損害、③ 斜面災害リスクの進化、④自然リスクのマルチプロセスモデリング、⑤早期警報システムなど。

また、300編以上の研究論文があり、以下の書籍も編集・執筆しています。

Naturgefahren, wbg academic, 2020年出版予定

Naturrisiken und Sozialkatastrophen, Spektrum Akademischer Verlag, 2007年

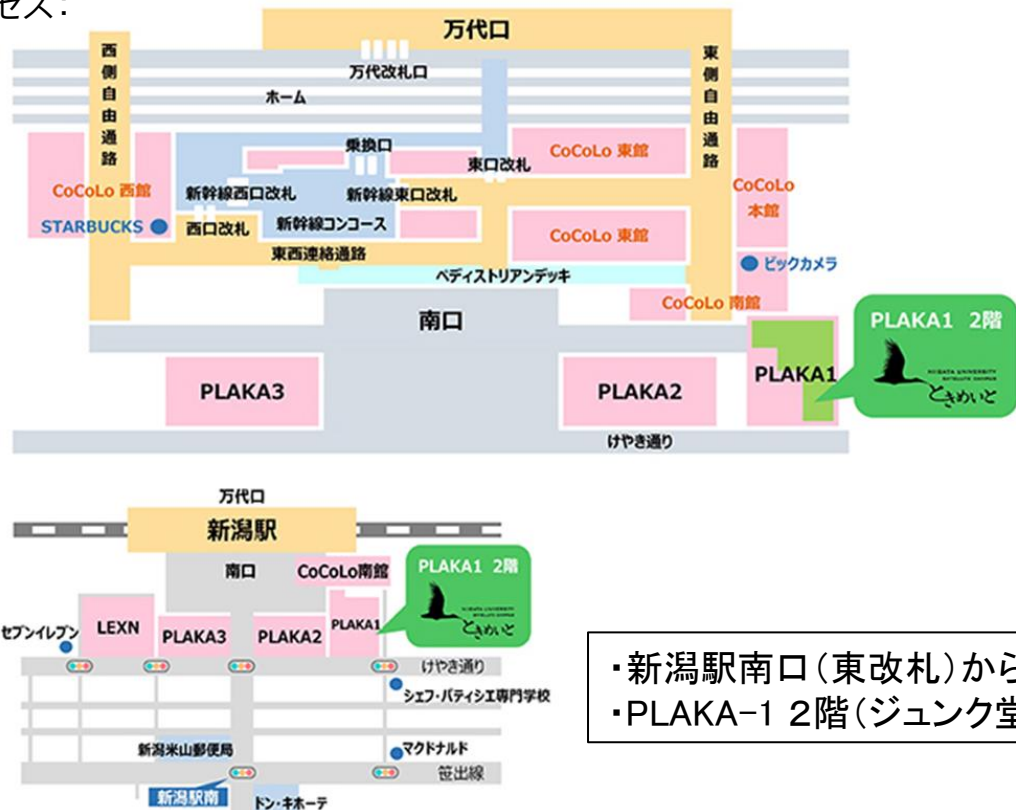
Landslide Hazard and Risk, Wiley, 2005年

The Use of Historical Data in Natural Hazard Assessments, Springer, 2001年など。

講演抄録:

斜面災害は、私たちの環境と社会に重大な脅威をもたらします。そのため、多くの分野、例えば技術者、地質学者、地形学者ばかりでなく、空間利用計画者も斜面災害を扱っています。モニタリング、修復工事、早期警戒システム、長期的な景観の進化など、関連する多くの業務があります。最近では、個別の斜面変動現象の潜在的な社会への影響評価のみならず、広範囲の空間情報としても定量化できるようになりました。この講演では、さまざまな研究事例を紹介し、いくつかの課題を取り上げます。斜面災害にかかわる技術者・研究者は、特に気候変動に関係する課題を直視する必要があります。また、人間活動の結果として生じる可能性のある環境変化も取り上げます。

会場アクセス:



- ・新潟駅南口(東改札)から徒歩3分
- ・PLAKA-1 2階(ジュンク堂の上階)